

「プロポーズの言葉」全国審査

杉山さん 最優秀賞

伊豆の国

都内で授賞式

6月第1日曜の「プロポーズの日」に合わせ、静岡市のNPO法

「言葉コンテスト」の第12回授賞式が29日、都内で開かれた。全国8

294点の応募の中から伊豆の国市の看護師杉山ひかりさん(28)のプロポーズの言葉が最優秀賞に選ばれた。

授賞式では入賞者がプロポーズの言葉をエピソードとともに紹介した。杉山さんは26歳の時、当時38歳だった年上の夫秀慶さん(41)に「母子手帳の父親の年齢ってところ、40代じゃなくて30代のうちに書きたいな」と求婚した。逆プロポーズを

帳の父親の年齢欄に「39歳」と書くことができたという。授賞式で杉山さんは「女性がプロポーズをしたっていいと思う。幸せになるきっかけは男女関係ない」と喜びを語った。そのほか本県では優秀賞に2作品が選ばれた。静岡市葵区の保育教諭藤井佑美さん(31)は中学時代の同級生小林大佑さん(31)に「学級委員の友達も彼女も、今日で卒業！あの指輪ください！」と伝えたいと紹介。沼津市の会社員長沢雅さん(40)は、妻の美樹さん(36)に感謝の気持ちを込め「これからは2人で一番楽しい時を過ごそう」とメッセージを送った。



夫へのプロポーズの言葉を紹介する杉山ひかりさん

(左から2人目) 29日午後、都内

きつかけにその後すぐ結婚、妊娠。母子手

希 (東京編集部・水野紗